

事業所名

kids合

支援プログラム（児童発達支援）

作成日

2025

年

2

月

18

日

法人（事業所）理念		援助の必要な方々を常に重んじ、自立支援促進や中立な立場と公正さを保ち、生活の改善と向上を図り、豊かな生活が営めるように寄与すること。									
支援方針		「やりたい、できた」と、持てる力を一緒に伸ばして行こう！！ 発達障害の特性が気になる子どもに、専門的な知識を有する作業療法士等の専門職がアセスメント（親面接・発達検査等）を実施することにより、子どもの特性を把握し、その子に合った支援についてお伝えする。									
営業時間		9	時	0	分から	17	時	0	分まで	送迎実施の有無	なし
支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	健康な心と体を育て、健康で安全な生活が出来るように支援を行います。 基本的な生活スキルの習得、生活リズムの形成、遊びの中や家庭にて行える支援の方法を考えます。 構造化等により生活環境を整え、遊びを通して学習する。障害の特性に配慮し、時間や空間を本人に分かりやすく構造化し、見通しを持って取り組めるよう努める。									
	運動・感覚	OTによる指導のもと、粗大運動や微細運動を行い、平衡感覚や固有感覚、前庭覚といった身体の状態を把握し、姿勢の維持・バランスをとる力を育む。 季節の行事に関する制作や手遊びを通して、手・腕をコントロールする力、道具を操作する力、手先の使い方、目と手の協応の力をつける。 遊びを通して、保有する視覚・聴力・触覚等の感覚を十分に活用できるようにする。 個人の発達段階に合った介入を行い成長発達を促す。									
	認知・行動	ビジョントレーニングを行い眼球運動がスムーズに働くよう促し、空間認知能力、視覚の短期記憶力、目と手の協応等の向上を目指す。 絵カードや遊びを通して、数や形、色、形容詞等の言葉の知識をつけられるよう促す。 視覚・聴覚を使って状況を判断し、どのような場面か、どのように振る舞うかを自分で考え、行動できるよう練習します。 個人の発達段階に合った介入を行い成長発達を促す。									
	言語 コミュニケーション	絵本の読み聞かせ、やりとり遊び、テーブルゲーム等を通し、自発的な発語を促す支援を行う。 自分の意思を指さし・身振り等の非言語行動で表現できるよう、場面を設定した遊びやテーブルゲームを使って行う。 文章で物事を伝えられるように、ゲームや遊びを通して語いを増やしたり使ったりして、練習をする場を設ける。また、使いたい言葉を思い出せるよう働きかける。 ひらがなが読め、自分の名前が書けるよう、文字の成り立ちを目と手で（感覚を使って）捉えたり、鉛筆で書く練習をする。 個人の発達段階に合った介入を行い成長発達を促す。									
	人間関係 社会性	療育者など身近な人と信頼関係を結び、その環境の中で安心感を得て、様々な挑戦ができるよう機会を与える。 SST、ロールプレイ、ゲーム等を通して他者の気持ちを想像したり、自分の意思を言葉で伝える練習をする。 ルールの理解ができるよう、テーブルゲームや遊びを通して指示や手順の理解がすすむよう促す。 個人の発達段階に合った介入を行い成長発達を促す。									
家族支援		必要に応じて自宅に訪問、事業所等での対面、またはオンラインにて相談援助を行う。 日常生活において、困りごと等、社会資源が不足していないか確認し、必要であればアドバイスを行う。				移行支援		必要に応じて教育機関と連絡を取り、日々の様子を交換し、連携を図る。			
地域支援・地域連携		他の通所支援事業所との交流と情報交換に努める。 通所する児童に関わる地域の関係者・関係機関と連携を図る。				職員の質の向上		職員の勉強会や研修を行う。 ケース会議。 各資格所得の支援。			
主な行事等		個別療育の中でその季節に合った行事を取り上げ、それについての知識を深めたり、工作等を行う。									